



(ひかり かがやく子)

「蛍」の子

堀之内小学校だより
R7年度7月号
令和7年6月30日

【重点目標】 「自分からひかる 人のためにひかる みんなとひかる」

「なんで」「どうして」「どうやって」

最近、YouTubeをよく見ます。ちょっと調べれば、「草刈り機の刃の替え方・メンテナンスの仕方」「松の芽の剪定の仕方」など、その道の専門家がとても丁寧に説明してくれます。子どもたちにとっても、一人1台端末の時代となり、更に便利な時代となりました。AIの進歩も著しく、わからないことは、パソコンやタブレット、スマホで調べれば、すぐに「答え」を導いてくれます。

そうした社会変化の中で、より豊かに生活していくために大切なのは、「問いを解決していく力」ではなく、「問いを生み出す力」「問いに気づく力」だとまで言われています。私たちの身の回りには、とても多くの「問い」が潜んでいて、それらに気づくことで、たくさんの「新たな世界」に導いてくれるということです。2018年から始まったNHKの「チョコちゃんに叱られる！」という番組も、そうした社会変化を予測して生まれた番組だと言えます。

「問いに気づく力」のある人は、一つの問いから、どんどん次の問いが生まれ、「問いの連鎖」により、「より深い世界」に入り込んでいけます。しかし、何となく生活していると、そうした「問い」に気づくことなく過ぎていってしまいます。

「問い」を見つけるための魔法の言葉があります。「なんで」「どうして」「どうやって」です。身の回りのモノや出来事にこの言葉をつけただけで、素晴らしい問いがいっぱいできあがります。

- ・水筒ってどうやって作るのかな。
- ・なんでメガネを掛けるとはっきり見えるのかな。
- ・葉っぱはなんで緑なのかな。
- ・どうして日本は、車は左側通行なのかな。
- ・なんでボールペンのインクはこぼれないのかな。
- ・・・等々

目に映ったもの、聞こえてきたものなどにこの魔法の言葉をつけると、あっという間に素晴らしい問いになって、そしてその先に今まで知らなかった「新たな世界」が待っています。もしかしたらその問いが、子どもたちの人生を変えるような問いになるかもしれません。

素敵な問いを作るのは、意外に簡単です。例えば、右の写真から、できるだけたくさんの問いを作ってみてください。お子さんの方が多いか、お父さんお母さんの方が多いか、よかったら挑戦してみてください。



(校長 後藤克巳)

※ホームページ「堀小 学校便り」に鮮明なこの写真を掲載しています。